

事業名：野島の魅力を世界に発信！

活動地域：防府市野島地域

山口県立大学国際文化学科学生と留学生（ウィルソン・エイミー教授）

活動の目的	野島のことを世界に！
活動地域	防府市野島地域
活動期間	7月10日(水)～11月8日(金)
活動内容	野島小中学校に通っている児童・生徒と山口県立大学の日本人学生や交換留学生との交流を通して、留学生が島のことを知り、違った文化から野島の魅力を世界に伝えるためのパンフレットづくりを行うなど、英語で野島の魅力を世界に情報発信する。

活動状況①

7月10日、カナダとチュニジアの留学生と日本人学生が、野島小中学校を訪問し、英会話を交えながら、子どもたちと交流を深めました。



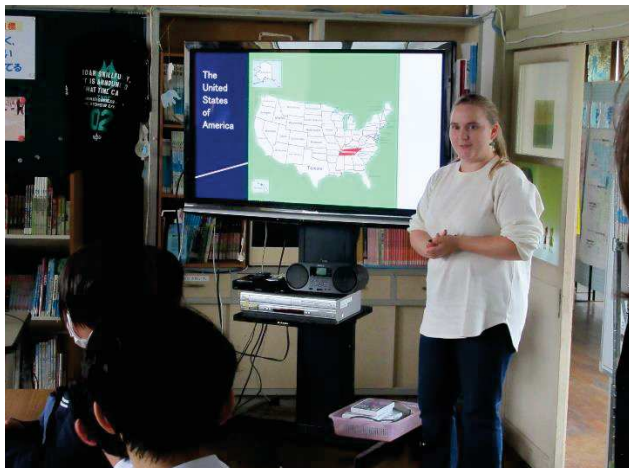
子どもたちとゲームを楽しみました。

子どもたちが野島太鼓を披露



活動状況②

10月18日、11月8日に、アメリカや中国、パキスタン、ドミニカ共和国からの留学生たちが、野島小中学校を訪問し、互いの文化や地域への理解を深めました。



外国人留学生が自国の文化を紹介

子どもたちと一緒に野島太鼓を演奏



活動状況③



小中学生との島探検
生徒が作成した島の地図をもとに、
散策に出かけました。

猫の島
とまでは言えないが、
なんびきも、やさしいネコにであいま
した。

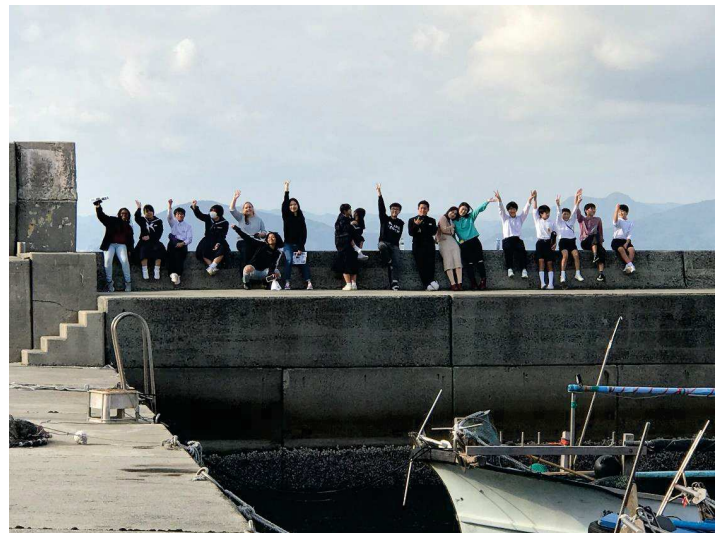


活動状況④



目からうろこ
日本人学生も島の生活に興味津々
生徒はいいガイドでしたよ。

のしまから“Hi！”
ぽかぽかしている海辺をゆっくり歩き
ました。



野島の魅力を英語で発信①

文化創造学科の学生グループが作成した「のしまマップ」
を英語に翻訳（「景観・風景班」の作品の抜粋）。



のしま

大笑い観音

船着き場から津久美浜方面へ歩いていくと、「大笑い観音」を見ることができます。この観音様は笑い声の「ハ・ハ・ハ」の語呂合わせで平成8年8月8日に建立されました。観音様の笑顔は見る人を元気にしてくれます。

Laughter Kannon

Walking from the dock to Tsukumihama Beach, you can see the "Laughter Kannon". This Kannon-sama was erected on August 8, 1996 (8th month, 8th day of Heisei 8; 8 is pronounced 'ha' in Japanese) with the laughter of "ha ha ha". Kannon's smile makes the viewer cheerful.

のしま

野島の魅力を英語で発信②

文化創造学科の学生グループが作成した「のしまップ」を英語に翻訳(「ねこ班」の作品の抜粋)。



猫生(にゃんせい)の3/2以上は睡眠
大人の猫も眠ります。
人生の3/1は睡眠ですが、なんと、猫生(にゃんせい)の3/2以上は睡眠だそうです。
猫たちののびのびとした振る舞いは、野島のみなさんが無意識のうちに守っているものかもしれませんね。

More than 3/2 of a cat's life.

Adult cats also sleep.

Sleep is 1/3 of a human's life, but more than 2/3 of a cat's life.

The fact that Noshima's cats can sleep anywhere shows that everyone protects and cares for them, even if only indirectly.



野島の魅力を英語で発信③

文化創造学科の学生グループが作成した「のしまップ」を英語に翻訳(「いろいろ班」の作品の抜粋)。



灯台入り口の扉

灯台までの道のりはそこそこ狭く、夏場は草が生い茂っています。分かれ道もあるので注意。ちなみに灯台の中には入れませんが、山登りの達成感が気軽に味わえます。

Lighthouse Door

The road to the lighthouse is rather narrow, and in the summer months it is overgrown. Be careful to take the correct path. You cannot enter the lighthouse, but you can easily feel the achievement of climbing.

